



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月6日

上場会社名 宮地エンジニアリンググループ株式会社
 コード番号 3431 URL <http://www.miyaji-eng.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青田 重利

問合せ先責任者 (役職名) 企画・経理部長 (氏名) 遠藤 彰信

TEL 03-5649-0111

四半期報告書提出予定日 2020年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	28,017	7.2	3,215	34.1	3,295	32.7	2,109	54.9
2020年3月期第2四半期	30,179	25.1	2,398	18.6	2,483	17.7	1,361	0.9

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,703百万円 (83.7%) 2020年3月期第2四半期 1,471百万円 (19.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	309.90	
2020年3月期第2四半期	200.02	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	61,029	32,371	46.0
2020年3月期	59,690	30,333	43.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 28,062百万円 2020年3月期 26,161百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		80.00	80.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 記念配当 20円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	12.3	5,000	4.6	5,000	6.9	3,000	14.6	440.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 有

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	6,919,454 株	2020年3月期	6,919,454 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年3月期2Q	113,777 株	2020年3月期	113,777 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	6,805,677 株	2020年3月期2Q	6,805,757 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況(連結)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にありますが、社会経済活動の段階的引き上げに伴い、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、持ち直しの動きが見られます。

公共投資は底堅く推移しており、当社グループの主力である道路橋・鉄道橋などの橋梁事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の発注量は、前年同期比で増加しました。

このような環境下、受注高につきましては、当第2四半期連結会計期間に発注された大型案件を受注獲得したことから、479億10百万円（前年同期比114.6%増）となりました。

売上高につきましては、手持ち工事の進捗により、280億17百万円（同7.2%減）となりました。

損益につきましては、工場構内ヤードの有効活用促進などの生産効率化、工事採算性向上の取り組みなどにより、営業利益は32億15百万円（同34.1%増）、経常利益は32億95百万円（同32.7%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は21億9百万円（同54.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(宮地エンジニアリング)

受注高につきましては、大型工事の受注があったことにより、264億97百万円（同82.5%増）となりました。

売上高につきましては、手持ち工事の進捗などにより、195億70百万円（同1.0%増）となりました。

損益につきましては、生産の効率化、工事採算性の向上の取り組みなどにより、営業利益は25億88百万円（同51.5%増）となりました。

(エム・エムブリッジ)

受注高につきましては、大型工事の受注があったことにより、214億9百万円（同174.3%増）となりました。

売上高につきましては、85億34百万円（同21.2%減）となりました。

損益につきましては、生産の効率化、工事採算性の向上などに取り組んだものの、営業利益は6億56百万円（同7.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

資産合計は、前連結会計年度末と比較して13億39百万円増加し、610億29百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が6億53百万円、投資有価証券が4億37百万円、現金預金が2億87百万円それぞれ増加したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して6億97百万円減少し、286億58百万円となりました。主な要因は、支払手形・工事未払金等が31億45百万円減少、未成工事受入金が21億8百万円増加したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して20億37百万円増加し、323億71百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が15億64百万円、その他有価証券評価差額金が3億15百万円それぞれ増加したためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して2億87百万円増加し、120億38百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況と増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、9億71百万円の資金増加（前年同期は14億82百万円の増加）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益33億55百万円の計上、仕入債務の減少32億55百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、14億82百万円の資金減少（前年同期は9億27百万円の減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出14億46百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、7億97百万円の資金増加（前年同期は2億87百万円の増加）となりました。主な要因は、短期借入金の増加15億円、配当金の支払5億41百万円、非支配株主への配当金の支払1億21百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国経済の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなか、各種政策の効果もあり、極めて厳しい状況から持ち直しの動きが続くことが期待されますが、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります、先行きは非常に不透明であります。

当業界におきましては、当社グループの主力である道路橋・鉄道橋などの橋梁事業において、今後も一定量の新設橋梁の発注が見込まれるなか、グループが有する豊富な実績・技術力・架設力を最大限活かし、技術提案力、積算精度の更なる向上を図り、情報収集力を高め、総力を挙げて安定的な受注の確保に努め、設計・計画・製作から架設までの総合エンジニアリング力の強化と採算性の更なる向上を図ってまいります。また、高速道路や新幹線などの大規模更新・修繕工事の保全・補修事業、ハイブリッドケーソン・浮体構造物・沈埋函などの沿岸構造物事業、シールドトンネル向けの鋼製セグメント事業、有望な製品の多いFRP事業、および建築・土木関連事業などに経営資源を積極的に投入し経営基盤を強化し、併せて、i-Constructionと働き方改革の推進に積極的に取り組み、生産性を向上させ、一段の飛躍を図ってまいります。

また、グループとしての経営管理体制を一層強化し、安定した黒字体質を確固たるものとするよう努め、グループの中核である宮地エンジニアリング株式会社、エム・エムブリッジ株式会社とともに更なる事業発展を図ってまいります。両社は、技術提案力の強化など受注力の向上に努め、また、経済合理性を最大限追求することを基本に、製造部門の生産性向上・生産効率化を図り、資機材の共同活用、技術の相互利用・共同開発、人材交流の推進に取り組んでおりますが、更なるシナジーの創出に努め、グループの企業価値を高めると同時に経営基盤を一層強化してまいります。

当社子会社の宮地エンジニアリング株式会社では、2021年度までの4年間で千葉工場に係る総額50億円程度の設備投資計画を実行しておりますが、新型コロナウイルス禍に伴い、経済や企業活動の先行きは不透明感を増しており、生産性向上やコスト削減、業務効率化などに直結する投資は継続する一方で、計画中の新たな投資については延期しており、今後の事業環境を見極めた上で投資の再開を決定いたします。

なお、通期の連結業績予想につきましては、2020年10月30日公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	11,751,586	12,038,694
受取手形・完成工事未収入金等	28,314,518	28,006,677
未成工事支出金	661,750	831,801
その他	1,037,908	1,262,363
流動資産合計	41,765,764	42,139,537
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,725,638	7,776,090
その他(純額)	4,472,352	5,075,501
有形固定資産合計	12,197,991	12,851,592
無形固定資産	238,533	221,586
投資その他の資産		
投資有価証券	4,216,514	4,654,180
その他	1,301,067	1,192,371
貸倒引当金	△29,690	△29,690
投資その他の資産合計	5,487,892	5,816,861
固定資産合計	17,924,416	18,890,040
資産合計	59,690,181	61,029,577
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	13,264,426	10,118,984
短期借入金	3,500,000	5,000,000
未払法人税等	807,339	1,077,741
未成工事受入金	1,646,540	3,754,817
完成工事補償引当金	595,550	596,550
工事損失引当金	1,480,500	1,212,000
賞与引当金	662,064	711,956
その他の引当金	125,869	—
圧縮未決算特別勘定	915,858	—
その他	1,082,265	1,003,401
流動負債合計	24,080,414	23,475,451
固定負債		
長期借入金	300,000	300,000
再評価に係る繰延税金負債	1,639,718	1,639,718
引当金	155,873	123,214
退職給付に係る負債	2,869,528	2,838,058
その他	310,933	282,083
固定負債合計	5,276,055	5,183,074
負債合計	29,356,470	28,658,526

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	3,746,206	3,746,206
利益剰余金	15,456,512	17,021,129
自己株式	△230,500	△230,500
株主資本合計	21,972,218	23,536,835
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,183,241	1,498,552
土地再評価差額金	3,240,566	3,240,566
退職給付に係る調整累計額	△234,489	△213,713
その他の包括利益累計額合計	4,189,318	4,525,406
非支配株主持分	4,172,173	4,308,809
純資産合計	30,333,710	32,371,051
負債純資産合計	59,690,181	61,029,577

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
完成工事高	30,179,318	28,017,881
完成工事原価	26,165,524	23,190,935
完成工事総利益	4,013,793	4,826,946
販売費及び一般管理費	1,615,415	1,611,162
営業利益	2,398,378	3,215,784
営業外収益		
受取利息	1,087	823
受取配当金	73,433	75,078
受取賃貸料	15,615	13,166
スクラップ売却益	2,161	678
その他	15,491	13,102
営業外収益合計	107,790	102,850
営業外費用		
支払利息	11,028	12,989
前受金保証料	8,382	8,616
その他	3,033	1,366
営業外費用合計	22,445	22,972
経常利益	2,483,723	3,295,662
特別利益		
固定資産売却益	2,420	—
関係会社株式売却益	1,998	—
圧縮未決算特別勘定戻入額	—	915,858
その他	—	12,352
特別利益合計	4,418	928,210
特別損失		
固定資産除却損	47,287	13,334
固定資産圧縮損	—	805,040
減損損失	116,569	—
移転関連費用	67,875	—
その他	3,091	49,908
特別損失合計	234,823	868,283
税金等調整前四半期純利益	2,253,318	3,355,589
法人税等	620,646	988,003
四半期純利益	1,632,672	2,367,585
非支配株主に帰属する四半期純利益	271,413	258,514
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,361,259	2,109,071

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,632,672	2,367,585
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△197,508	315,311
土地再評価差額金	24,002	—
退職給付に係る調整額	12,397	20,776
その他の包括利益合計	△161,108	336,087
四半期包括利益	1,471,564	2,703,673
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,199,157	2,443,601
非支配株主に係る四半期包括利益	272,407	260,072

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,253,318	3,355,589
減価償却費	295,899	452,985
減損損失	116,569	—
固定資産圧縮損	—	805,040
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△650,200	△268,500
圧縮未決算特別勘定の増減額 (△は減少)	—	△915,858
受取利息及び受取配当金	△74,521	△75,902
支払利息	11,028	12,989
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,750,914	307,840
未成工事支出金等の増減額 (△は増加)	201,490	△141,028
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,002,549	△3,255,422
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△160,711	2,108,277
その他	615,624	△775,275
小計	1,860,133	1,610,735
利息及び配当金の受取額	74,521	75,902
利息の支払額	△10,928	△12,954
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△441,529	△701,754
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,482,197	971,928
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△875,589	△1,446,962
その他	△51,411	△35,632
投資活動によるキャッシュ・フロー	△927,000	△1,482,595
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	850,000	1,500,000
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△300,000	—
配当金の支払額	△404,340	△541,329
非支配株主への配当金の支払額	△115,161	△121,879
その他	△42,502	△39,016
財務活動によるキャッシュ・フロー	287,996	797,774
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	843,192	287,108
現金及び現金同等物の期首残高	10,221,427	11,751,586
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,064,619	12,038,694

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社及び連結子会社の税金費用につきましては、原則的な方法により計算しておりましたが、当社及び連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。また、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	宮地エンジ ニアリング	エム・エム ブリッジ				
売上高						
外部顧客への売上高	19,385,296	10,833,024	1,540	30,219,861	△40,542	30,179,318
セグメント間の内部 売上高又は振替高	744,477	258,124	538,675	1,541,277	△1,541,277	—
計	20,129,774	11,091,148	540,216	31,761,139	△1,581,820	30,179,318
セグメント利益	1,708,141	708,572	470,763	2,887,476	△489,098	2,398,378

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、工事進行基準売上高の調整額及びセグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額は、工事進行基準利益の調整額△7,858千円、セグメント間取引消去△411,786千円及び全社費用△69,453千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「宮地エンジニアリング」セグメントにおいて、遊休状態となった資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の当第2四半期連結累計期間における計上額は116,569千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	宮地エンジ ニアリング	エム・エム ブリッジ				
売上高						
外部顧客への売上高	19,570,710	8,534,802	3,216	28,108,728	△90,847	28,017,881
セグメント間の内部 売上高又は振替高	33,755	—	605,413	639,169	△639,169	—
計	19,604,466	8,534,802	608,629	28,747,898	△730,016	28,017,881
セグメント利益	2,588,556	656,919	538,832	3,784,309	△568,524	3,215,784

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、工事進行基準売上高の調整額及びセグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額は、工事進行基準利益の調整額97千円、セグメント間取引消去△498,824千円及び全社費用△69,797千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況(連結)

① 生産の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
宮地エンジニアリング	19,353,957	64.7	19,645,734	68.9	41,055,265	64.3
エム・エムブリッジ	10,596,374	35.4	8,974,029	31.4	22,706,163	35.6
その他	1,540	0.0	3,216	0.0	2,302	0.0
調整額	△40,542	△0.1	△90,847	△0.3	98,746	0.1
合計	29,911,330	100.0	28,532,132	100.0	63,862,479	100.0

② 受注の状況

(受注高)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
宮地エンジニアリング	14,517,733	65.0	26,497,836	55.3	33,656,066	62.6
エム・エムブリッジ	7,805,047	35.0	21,409,280	44.7	20,097,140	37.4
その他	1,540	0.0	3,216	0.0	2,302	0.0
合計	22,324,322	100.0	47,910,333	100.0	53,755,510	100.0

(受注残高)

セグメントの名称	前第2四半期連結会計期間末 (2019年9月30日)		当第2四半期連結会計期間末 (2020年9月30日)		前連結会計年度末 (2020年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
宮地エンジニアリング	48,528,287	64.6	52,806,330	56.9	45,879,204	62.9
エム・エムブリッジ	26,537,974	35.3	39,969,473	43.1	27,094,995	37.2
その他	—	—	—	—	—	—
調整額	53,187	0.1	4,745	0.0	△86,101	△0.1
合計	75,119,450	100.0	92,780,548	100.0	72,888,097	100.0

③ 販売の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
宮地エンジニアリング	19,385,296	64.2	19,570,710	69.8	41,172,713	64.5
エム・エムブリッジ	10,833,024	35.9	8,534,802	30.5	22,568,097	35.3
その他	1,540	0.0	3,216	0.0	2,302	0.0
調整額	△40,542	△0.1	△90,847	△0.3	98,746	0.2
合計	30,179,318	100.0	28,017,881	100.0	63,841,859	100.0